

# 浜松市教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画

～あかるく・いきいき・みりよくある 学校創造プラン～

概要版

令和8年3月策定

計画の目的

## 「価値ある学校」の創造

教育の質の向上



教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの充実  
教職員が心身ともに健康的に教育活動に従事

指標・目標

・年次休暇年間取得日数	15日
・時間外月45時間超教員	0人
・時間外年360時間超教員	0人
・総合健康リスク	80未満
・高ストレス者の割合	5%未満
・ワークエンゲージメントの指標*	5Pt以上



\* 3つの設問に対しそれぞれ7段階《毎日感じる(6pt)～全くない(0pt)》で回答  
「5.0pt」は各設問に対し「1週間に数回感じる」状態

## 3つの柱に基づく56の取組

### I 教職員が働きがいと働きやすさを感じる学校づくり

#### (1) 家庭・地域への理解促進

- ① 家庭・地域に対する働き方改革の周知啓発

#### (2) 教育DXの推進

- ① 勤務サービス・諸手当のシステム化検討
- ② 備品管理システムによる管理の効率化
- ③ デジタルを活用した問題行動対策やいじめ対策の強化
- ④ 統合型校務支援システムの運用
- ⑤ タブレット型端末のロケーションフリー化
- ⑥ 生成AIの効果的な活用
- ⑦ 就学援助申請のオンライン化
- ⑧ 学校給食費等Web口座振替受付サービスの導入・運用
- ⑨ 自動採点システムの導入
- ⑩ 各種報告書等の文書作成の自動化、効率化の検討

#### (3) 学校・教職員への過剰な要求への対応強化

- ① 浜松市カスタマーハラスメント対策基本方針に基づいた対応
- ② スクールロイヤールの配置
- ③ 学校問題解決に向けた体制強化
- ④ 学校電話機への通話録音、非通知拒否機能等の追加

#### (4) チーム学校の実現に向けた体制整備

- ① 多様な支援員、補助員の配置
- ② 校務アシスタントの配置
- ③ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置・派遣
- ④ 部活動指導員の配置
- ⑤ 教頭アシスタントの配置
- ⑥ 若手教職員のサポート体制の構築

#### (5) 負担軽減・業務の効率化の推進

- ① 勤務時間を意識した登下校時間等の見直し
- ② 勤務時間外における電話の自動音声応答
- ③ 連絡アプリを活用した効果的・効率的な情報収集と発信
- ④ 多様な研修機会・形態の設定
- ⑤ 学校に対する調査・照会等の見直しと精選
- ⑥ 学校等への配布物の削減
- ⑦ 各種団体事務及び連絡調整体制の見直し
- ⑧ 学校事務の効率化・適正化による学校運営への参画促進
- ⑨ 学校給食費、学校徴収金に係る事務・徴収管理の見直し
- ⑩ 学校業務に関するマニュアル等の整備

#### (6) 学校施設等に係る管理の負担軽減

- ① 学校プール施設・設備管理の負担軽減
- ② 学校施設の施設形態スマート化
- ③ ICT機器等の保守・管理委託化
- ④ 学校施設における維持管理手法の検討
- ⑤ 学校開放事業のスマート化

#### (7) 柔軟な教育課程の編成や指導體制の充実

- ① 柔軟な教育課程の編成・実施に向けた検証
- ② はままつ式30人学級編成の実施
- ③ 小学校における教科担任制の拡充
- ④ チーム担任制の検証



### II 教職員の心身の健康保持増進

#### (1) 安全衛生管理の徹底

- ① 健康診断・ストレスチェックの実施と分析
- ② セルフケア意識向上に向けた研修の実施
- ③ 公務災害の防止
- ④ 安全衛生管理体制の強化

#### (2) 柔軟な働き方と休暇取得の促進

- ① 年次休暇等の取得促進
- ② 男性育児休業の取得促進
- ③ 長期休業期間における学校閉庁日の実施
- ④ 産休・育休等代替職員の適切な配置
- ⑤ 時差勤務・在宅勤務の環境整備

#### (3) 相談体制の充実

- ① 産業医等による面接指導
- ② 多様な相談窓口の周知



### III 多様な人材・主体との連携・協働

#### (1) 多様な人材・主体との連携・協働

- ① 学校運営協議会を活用した地域と学校の連携促進
- ② 地域学校協働活動による学校支援
- ③ はままつ人づくりネットワークセンターの充実
- ④ 保護者・地域・関係機関と連携した登下校の安全確保

#### (2) 部活動の地域展開の推進

- ① 部活動の地域展開の推進

HAPPY